



第25回世界禁煙デー宮城フォーラム  
「禁煙宣言はオール宮城で！」

# 東北大学の全面禁煙宣言とその後

東北大学  
環境・安全推進センター  
大学院医学系研究科産業医学分野

教授・統括産業医 黒澤 一

[kurosawa-thk@m.tohoku.ac.jp](mailto:kurosawa-thk@m.tohoku.ac.jp)

## 大学

多くの学生、教職員、研究者、来訪者(未成年も多数)  
近所にある保育園の子供たちも遊びに来る  
地域のシンボル、オピニオンリーダー、  
健康増進法(努力義務)  
喫煙の害が非常に大きいことを知る学問の府

→ 「敷地内全面禁煙」は大学の使命  
大学の責務

喫煙学生  
留年が多い、遅刻が多い、等々  
学生時代に喫煙を覚えると  
卒業してからも喫煙継続  
→ 重大な健康影響

東北大学片平キャンパス

平成22年10月1日

## 東北大学キャンパス内全面禁煙宣言

喫煙は喫煙者自身の健康を害すると同時に、周囲に受動喫煙の健康被害を及ぼす。その為、喫煙者の禁煙を支援するとともに、非喫煙者の受動喫煙を完全に防ぐような衛生対策が必要である。

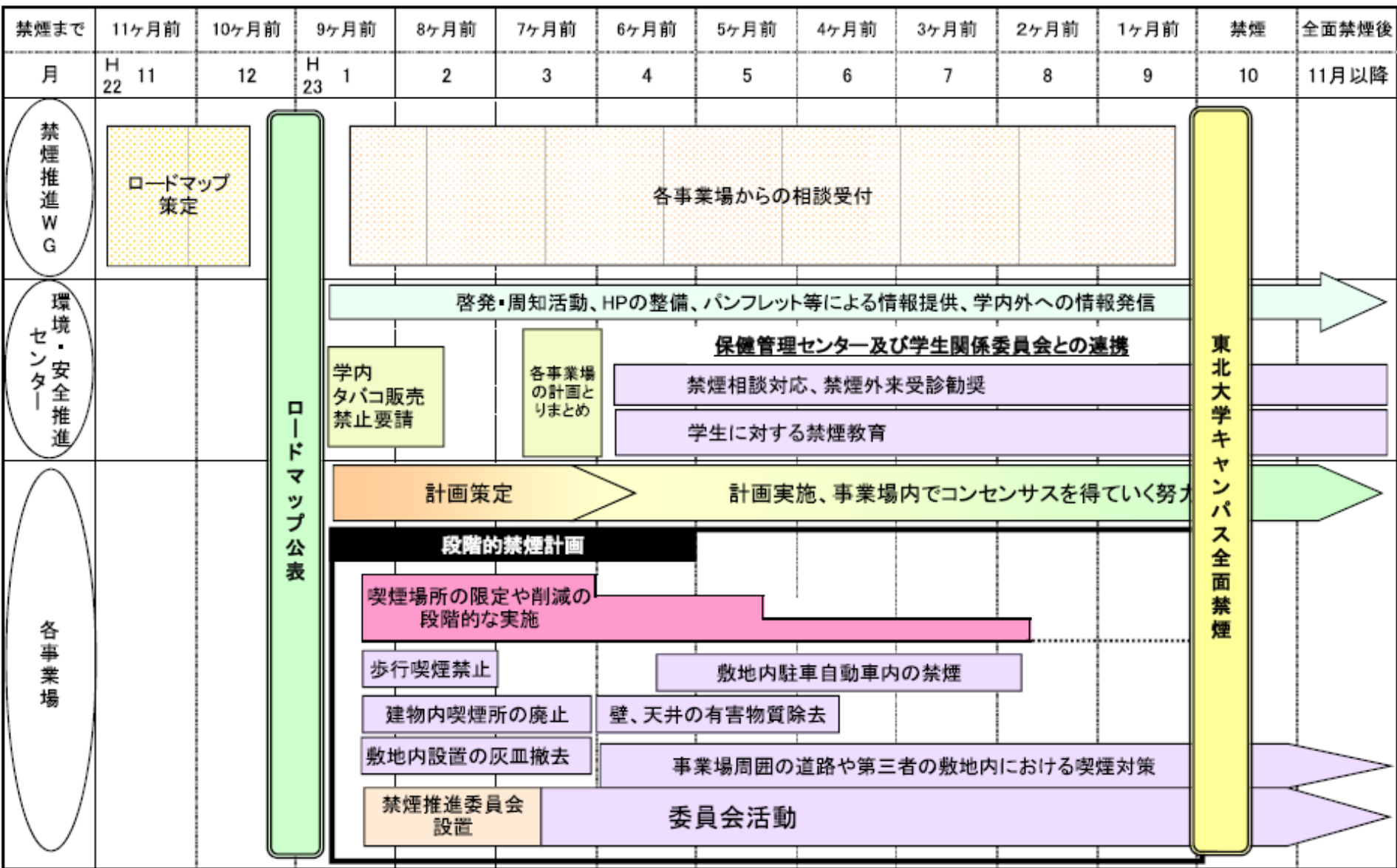
東北大学は、未成年の学生を含め多くの人々が集まる公共性の高い場であることを踏まえ、受動喫煙による教職員、学生及び学内外関係者の健康被害を防止するため、すべてのキャンパスにおいて全面禁煙とすることを宣言する。

この宣言は、東北大学環境・安全委員会の決定に基づくものであり、キャンパス内全面禁煙までの移行期間を1年と定め、平成23年10月1日をもってキャンパス内は完全に禁煙とする。

東北大学総長

井上明久 3


## 東北大学キャンパス全面禁煙 **禁煙ロードマップ**



# 禁煙宣言から禁煙実施まで

- ▶禁煙推進ロードマップの作成
- ▶学内喫煙所の段階的廃止
- ▶周知ポスター作成
- ▶学内タバコ販売の中止(生協、コンビニ)
- ▶学内巡視・・・隠れ喫煙所の確認と対策、火災防止の観点
- ▶学生教育・・・禁煙教育、サークル活動者への呼びかけと対話
- ▶文系学部の教授会での禁煙推進委員会の出前プレゼンテーション
- ▶業者、工事関係者への周知、工事契約時の条項加筆
- ▶キャンパス周辺の道路の禁煙の周知と協力依頼
- ▶職員宿舎、学生寮の禁煙化
- ▶敷地内駐車場車内の禁煙の周知





平成23年10月1日に  
静かに全面禁煙  
が始まりました。

 **キャンパス内全面禁煙**  
No-smoking on campus

(平成23年3月には東日本大震災があり、地域  
や大学は甚大な被害を受けましたが、禁煙の実  
施には影響がありませんでした)

# 全面禁煙後も喫煙対策を継続



放置すると  
揺り戻しが起こる



病院の喫煙対策委員会は病院長賞に輝く！

## 東北大学病院禁煙セミナー



東北大学病院喫煙対策委員会

## 東北大学病院禁煙アドバイザー講習会



非喫煙者を無関心にさせず、禁煙の理解者になってもらい、さらに積極的に活動してもらう

恐れ入りますが、大学周辺の道路の禁煙にご協力下さい！  
(呼びかけだけ。その場を立ち去る)



大学周辺道路(歩道)における喫煙者には巡回時に注意



隠れ喫煙所対策



## (全文東北大学病院HP掲載)



### 東北大学病院の喫煙に対する姿勢について

東北大学病院は、全敷地内を禁煙としています。道路などの病院周辺地域におきましても、喫煙は一切ご遠慮ください。

東北大学病院は、喫煙の甚大な害を重く受け止めています。喫煙を個人の嗜好として尊重するよりも、その悲惨な害を知るものとして喫煙に対する厳しい姿勢を示し、積極的に禁煙を呼びかけ、健康を守る学問の府としての役割を果たしていこうと考えています。

#### 1. すべての人の受動喫煙を防ぎます

どのような喫煙所を作っても、その周囲に有害な煙やガスが漏出します。どのような分煙装置をもってしても、受動喫煙を完全に防ぐことは不可能です。

喫煙者から吐く息の中には喫煙終了後しばらくは有毒な成分が含まれています。特に喫煙直後が高濃度ですので、喫煙する場所が近くであれば、喫煙者の吐いた息に含まれる有害ガスで院内空気環境は汚染されます。

喫煙すると、煙の中の発がん物質などの有毒化学物質が体や衣服などに付着します。これも病院に持ち込まれて、院内環境を汚染します（三次受動喫煙）。

東北大学病院は、病気を治療する場所です。環境被害を受ける場所ではありません。受動喫煙および3次受動喫煙による被害があってはけません。喫煙によって生じる有害物質が持ち込まれたり、これらが院内で発生したりすることを防ぎます。

#### 2. 喫煙者の健康を守ります

現在の日本では、実に年間に約15万人の死亡が喫煙と関係しています。肺がんをはじめとする悪性疾患を筆頭に、心筋梗塞や脳卒中などの血管の病気、COPDなどの呼吸器病、などが主な死亡原因です。喫煙者は、非喫煙者に比べて平均で10年寿命が短いことがわかっています。

たばこは決してストレスを減らしたり、国家の財政を助けたりする嗜好品ではありません。かえって、ストレスを増やし、国家の莫大な経済損失を生んでいます。その上、喫煙による健康被害は科学的に明らかであり、その重大さは想像以上です。知っていながら、喫煙者が悲惨な健康被害に陥っていくのを漫然と放置するわけにはいきません。病院およびその周辺の敷地における喫煙を全面的に禁止し、あらゆる職種が、あらゆる場面で啓発活動および禁煙指導を行うことによって、禁煙について考え始める機会を積極的に喫煙者に提供していきます。

病 院 長

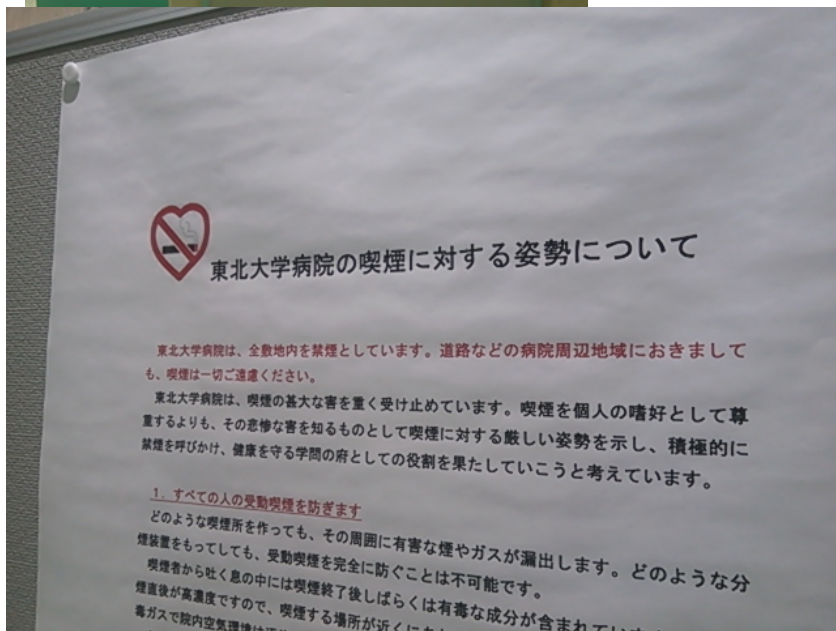
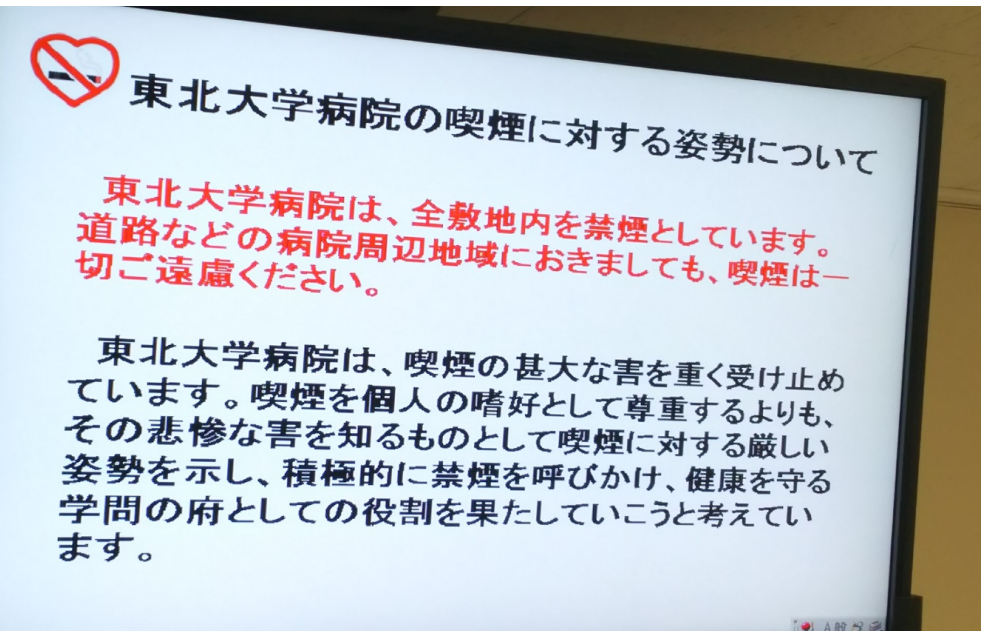
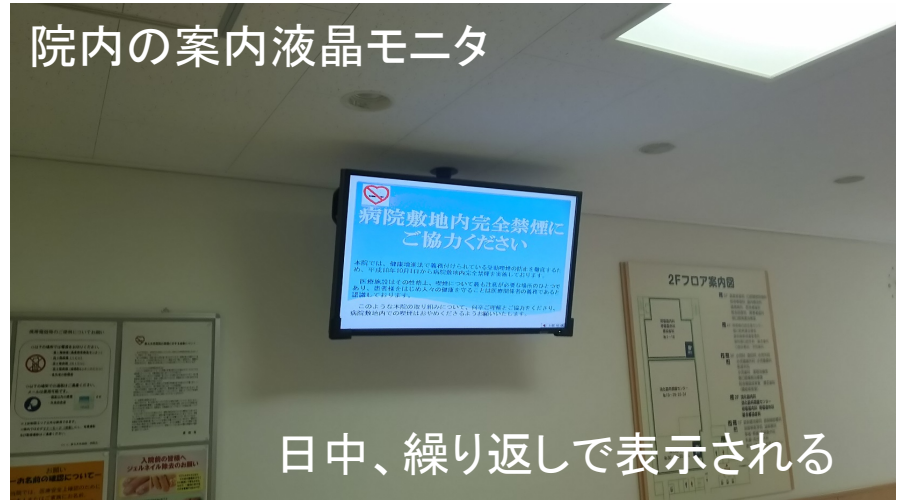
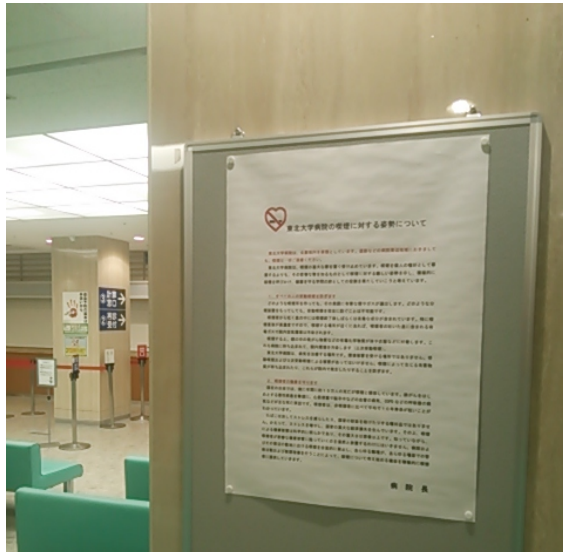
## 東北大学病院の喫煙に対する姿勢について

東北大学病院喫煙対策委員会での議論で、「巡回時に喫煙者に対して声をかける際に、どのようなスタンスをとればいいのか、自信が持てない」、という意見に対する対策として考えられた。

病院で、なぜ、喫煙に対して厳しい姿勢を示しているのか、そのことについて同じ意識を持とうとしたもの。

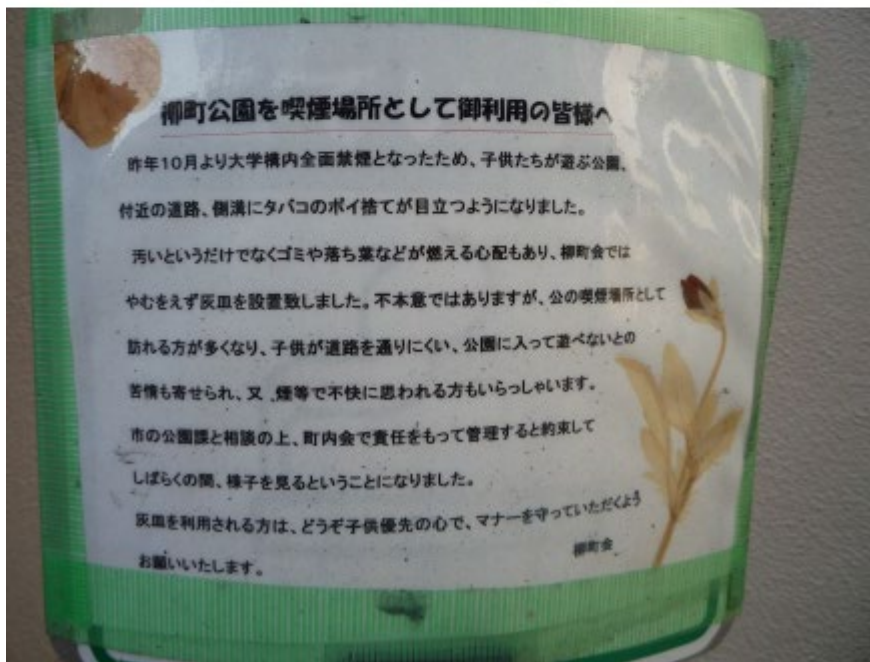
病院の科長会議に提案し、正式に採択されて、院内各所に貼りだされている。病院のHPにもアップされた。

# 喫煙に対する姿勢の院内掲示(東北大学病院)



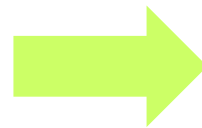
## 大学への苦情

公園や路上で職員や学生が喫煙し、迷惑しているとの住民からの苦情。



## 仙台市と協議

仙台市が検討した？  
公園全体が禁煙となった。



# 加熱式など新型タバコへの対応

東北大学病院患者用駐車場  
(2017年6月13日)

吸い殻あり



落ちている吸い殻の  
10%程度が新型タバコ

加熱式タバコ  
の吸い殻



# いわゆる「新しいタバコ」に対する東北大学病院の姿勢について

最近、煙の出ない、あるいは煙の見えにくいタバコが次々と販売され、従来のタバコよりも害が少ない、と宣伝されています。それをうけて、今まで公共の禁煙だった区域におけるタバコの代替品候補として考える方もいらっしゃるようです。しかしながら、一方では、新たな健康へのリスクが懸念されています。新しいタバコ(注1)は「健康リスクが少ない」「受動喫煙の危険がない」と誤認されていますが、有害物質を含んでおり、使用者および周囲の人々に危害を及ぼす可能性があります。また、WHOをはじめとする国際的な保健機関の多くが、その危険性に対して警告を発しています。

東北大学病院では、すでに敷地内禁煙を実施しておりますが、新しいタバコに対する姿勢については表明しておりませんでした。ここに改めて、当院では、従来のタバコと同様に、新しいタバコに関しても敷地内全面禁煙とし、また周辺の道路や敷地においても禁煙にご協力をお願いする、という姿勢に統一することに致します。

新しいタバコには、安全なものがあるという意見をお持ちの方もいらっしゃるかもしれませんが、しかしながら、多種多様の製品があり、それらの安全性が製品ごとに異なるため、外部から危険なものや安全な製品を見分けることはできません。また、本製品が禁煙へのステップに役立つという意見の方もいらっしゃるかもしれませんが、しかし、同時に、とくに若い世代に対して、新しいタバコが本格的な喫煙への入り口になることを重く受け止めたいと考えています。

皆様にご理解ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

注1) 新しいタバコには、無煙タバコ、スヌース、いわゆる電子タバコ、非燃焼・加熱式タバコなどがあげられます。

## (参考) 旧帝国大学キャンパス内全面禁煙の実施状況例

～喫煙対策自体はあるものの、喫煙所は残っている～

北海道大学	学内原則禁煙(喫煙指定場所あり)
東京大学	学内原則禁煙(喫煙指定場所あり)
名古屋大学	学内原則禁煙(喫煙指定場所あり)
京都大学	学内原則禁煙(喫煙指定場所あり)
大阪大学	全面禁煙が計画されたが延期(中止?)
九州大学	全面禁煙移行予定(2019.9.1～)

2019.5現在

喫煙は国で許されている、文科省の指導がない、火事が起きたら大変、個人の権利を尊重、等々、大学が全面禁煙にしない理由としては恥ずかしいのでは？

# 東北地区における 国立大学キャンパス内全面禁煙の実施状況

宮城教育大学 2006年 4月

弘前大学 2007年10月

岩手大学 2008年 4月

福島大学 2010年 1月

秋田大学 2010年 4月 (2013年撤回)

東北大学 2011年10月

山形大学？

# 宮城県における大学キャンパス内全面禁煙の実施状況

## 敷地内全面禁煙

東北大学  
宮城教育大学  
尚絅学院大学  
仙台大学  
東北学院大学  
東北文化学園大学  
東北薬科大学  
宮城学院女子大学  
仙台白百合女子大学  
仙台青葉学院短期大学

## 学生については全面禁煙

聖和学園短期大学

## その他

国公立大学では唯一、宮城大学が未施行

宮城大学(2020年完全禁煙実施予定?)  
東北職業能力開発大学校  
石巻専修大学  
東北工業大学  
東北生活文化大学  
東北生活文化大学短期大学部  
東北福祉大学  
宮城誠真短期大学



# 大学が敷地内全面禁煙を実施する意義

健康を守る・・・能動および受動喫煙の影響を防ぐ

法律の趣旨に沿う・・・健康増進法、労働安全衛生法、等

公共性の高い場

未成年の学生を含め多くの人々が集まる

教育機関・・・人材を育てる場

学生を喫煙習慣のないまま社会に送り出す

学問の府(タバコについての正しい理解の研究と発信)

タバコの害、依存のメカニズム

タバコは嗜好品に非ず

喫煙させることはもてなしに非ず

地域のシンボル、模範となるべき場所

大学が全面禁煙を実施しない理由があるか？

~~教職員の喫煙する権利？  
外来者への遠慮？  
火災防止？~~

大学は地域の範となるべく率先して禁煙に取り組むべきものではないか。